

## 野口ひろあき 議会報告



### 野口ひろあき プロフィール

1957年11月5日生まれ  
鳩ヶ谷小／鳩ヶ谷中／蕨高／  
上智大学文学部新聞学科卒  
広告代理店勤務を経て現職  
鳩ヶ谷市議(4期)、議長、総務・  
予算・決算・環境センター問題  
調査特別・議会改革各委員会委  
員長を歴任  
川口市議(1期)市政クラブ代表

川口法人会理事、鳩ヶ谷商工  
会理事、川口市空手道連盟副  
会長、鳩ヶ谷ロータリークラブ  
会員、学校法人松陰学園 みの  
り幼稚園事務長



### 庁舎問題議論白熱

#### 審議会答申はSKIPシティ北側 議会の趨勢は現在地

新市庁舎の建設場所を検討していた川口市庁舎建設審議会(会長・柳沢厚慶 応大学非常勤講師)は、建設地をSKIPシティ北側地区とする答申をまとめ、先ごろ市長に答申しました。

耐震性に問題のある現庁舎を建て直すという市・市議会の方針のもと、その候補地を現在地(青木、幸町)とSKIPシティ(上青木)の北側に絞り、市長が昨年11月に審議会に対し諮問していました。審議は難航し、当初は昨年度内であった答申予定が、今年度にずれ込んでいました。

審議会では①住民の利便性 ②防災拠点性 ③周辺環境への影響 ④まちづくりなどの発展可能性 ⑤庁舎建設計画との整合性 ⑥建設コスト をポイントに議論されました。現在地は旧市街地の都心区域であること、一方SKIPシティ周辺は中央核地域として将来的な発展が見込まれることなどから、議論は難航。答申では、長期的な視野に立った選定と、選ばれなかった用地の早急な活用策を期待する一文が添えられ、**最終判断は市長・議会に委ねるべき**と付記されています。

答申を受け、議会での議論も活発化していますが、市庁舎をSKIPシティに移転するには、議員数の3分の2以上の賛成を必要とすることなどから、現在地派が優勢な状況です。

私は「市の中心」に近いSKIPシティの方が良いかなと思ったりもしますが、多くの市民がそれぞれの思いを胸に、それぞれの候補地を支持している中で、一つの答えを出すのは、大変苦しい選択になります。

私ども市政クラブとしましては、いずれの候補地になろうとも 1. 計画の延べ床面積40,000㎡にこだわることなく(機能を集約し、もっと狭くても可) 2. 各支所機能を強化する(1点集中型ではなく、分散型の市民サービスの実施)以上2点を基軸に議論に参加して行く方針です。

現在、本人確認や申請等が本庁舎でしか行えない手続きが散見されます。テレビ電話や指紋認証等の先進技術を取り入れて、市民の方がわざわざ本庁舎まで行かなくとも、各支所で各種手続きが行えるようにすべきと考えます。

#### ● 駅からの交通利便性

| 拠点             | 本庁舎     |         | SKIPシティ |
|----------------|---------|---------|---------|
| 最寄り駅           | JR川口駅   | SR川口元郷駅 | SR鳩ヶ谷駅  |
| 一日あたりの乗降人員数    | 156,350 | 16,176  | 17,184  |
| 最寄り駅からの徒歩による距離 | 約1.2km  | 約1.2km  | 約1.5km  |
| 同上所要時間         | 約12分    | 約12分    | 約15分    |

#### ● 地理的中心点及び人口重心点からの距離



※図・表は第3回川口市庁舎建設審議会資料より

## 小中学校普通教室へのエアコン設置

### 党派を超え、一般質問で要望

9月10日から13日まで行われた、川口市議会9月議会一般質問。この夏の猛暑を受け、市立小中学校普通教室へのエアコン設置を要望する意見が党派を超え、複数の議員から出されました。

現在、当市立の小中学校におけるエアコンの普及率は、音楽室・図書室などの特別教室・21.2%、コンピュータールーム・30.1%、普通教室・3.0%に留まっています。一方、周辺のさいたま市、戸田市、蕨市では100%の設置となっ

ています。

議会の動向としては設置へ向けて動き出したわけですが、問題はその費用。普通教室にエアコンを設置する場合、動力電源への変換工事等が必要となるため、思ったより高額になり、一教室当たり約200万円かかるとされており、市全体では約60億円の費用が見込まれます。今後は、より低廉な工法の研究と予算の捻出が課題となってくるものと思われます。

## 新パスポートセンター オープン

### 県内他市町村の方も利用可能に 西川口西口の活性化に繋がるか

去る10月15日より川口市パスポートセンターが西川口駅西口に移転しました。新パスポートセンターでは、県内他市町村の住民の方も申請と受取ができるようになりました。

また、同時に西川口駅連絡室も同センターの一階下に移転し、パスポート申請時に必要な戸籍謄本や住民票の取得が同一建物内で可能となり、利便性が向上しました。

私・野口は昨年12月議会で西川口ワールドタウン構想という内容で、一般質問をさせて頂きましたが、この施設が西川口西口地域再活性化のきっかけとなることを願います。



● 交付第一号の市民の方に市長から記念品が贈呈されました

### 川口パスポートセンター・西川口駅連絡所

|            |                                                                                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>所在地</b> | 〒332-0021 川口市西川口1丁目6番16号（三菱東京UFJ銀行の道を挟んだ西隣）<br>西川口駅前ビル（2階：西川口駅連絡室 3階：パスポートセンター） |
| <b>電話</b>  | 西川口駅連絡室：048-255-0435      パスポートセンター：048-241-8010                                |

| 西川口駅連絡室                                                                                                                                                                              | パスポートセンター                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="background-color: #fff3cd; padding: 2px;"><b>利用時間</b></p> <p>午前8時30分～午後7時</p>                                                                                              | <p style="background-color: #d1ecf1; padding: 2px;"><b>利用時間</b></p> <p>◎パスポートの申請<br/>月曜日～金曜日：午前9時～午後4時30分</p> <p>◎パスポートの受取<br/>月曜日・水曜日・金曜日・日曜日：<br/>午前9時～午後4時30分<br/>火曜日・木曜日：午前9時～午後7時30分</p> |
| <p style="background-color: #fff3cd; padding: 2px;"><b>休所日</b></p> <p>土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</p>                                                                               | <p style="background-color: #d1ecf1; padding: 2px;"><b>休所日</b></p> <p>土曜日、祝日、休日、年末年始（12月29日～1月3日）<br/>（祝日が日曜日と重なる場合には交付業務を行います）</p>                                                           |
| <p style="background-color: #fff3cd; padding: 2px;"><b>業務内容</b></p> <p>住民票の写し、印鑑証明書、戸籍の謄抄本、身分証明書の交付等。<br/>市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料等の収納等。（いずれも納期内のもの）<br/>※詳しくは同連絡室にお問い合わせ下さい。</p> | <p style="background-color: #d1ecf1; padding: 2px;"><b>業務内容</b></p> <p>パスポートの申請・交付</p>                                                                                                        |

## 里土地区画整理「共同化事業」本格化

### 建設組合設立・マンション建設へ向け

平成元年の事業施行開始以来、25年が経過した里土地区画整理事業。今年度末の進捗率は約70%となる見込みです。区画整理地内住民の早期移転を実現し、早期完工の一助となるべく、平成23年から「共同建設型マンション」実現へ向けた取り組みが行われてきました。このほど地元住民を対象に先行募集が始まり、いよいよ「共同化事業」が具体化へ向け動き始めました。

この事業は地上7階建て、戸数53のマンションを平成

28年1月の竣工予定で建設するもので、コーポラティブ方式と呼ばれる、入居予定者が共同建設する方式を採用しています。同方式のメリットは、分譲型マンションと異なり、住戸内の自由設計が可能であること、無駄のない原価取得が可能であることなどが挙げられます。

今後は、地元募集に引き続き一般募集が行われ、年度内の建設組合設立、26年秋の着工、28年1月の竣工を目指します。

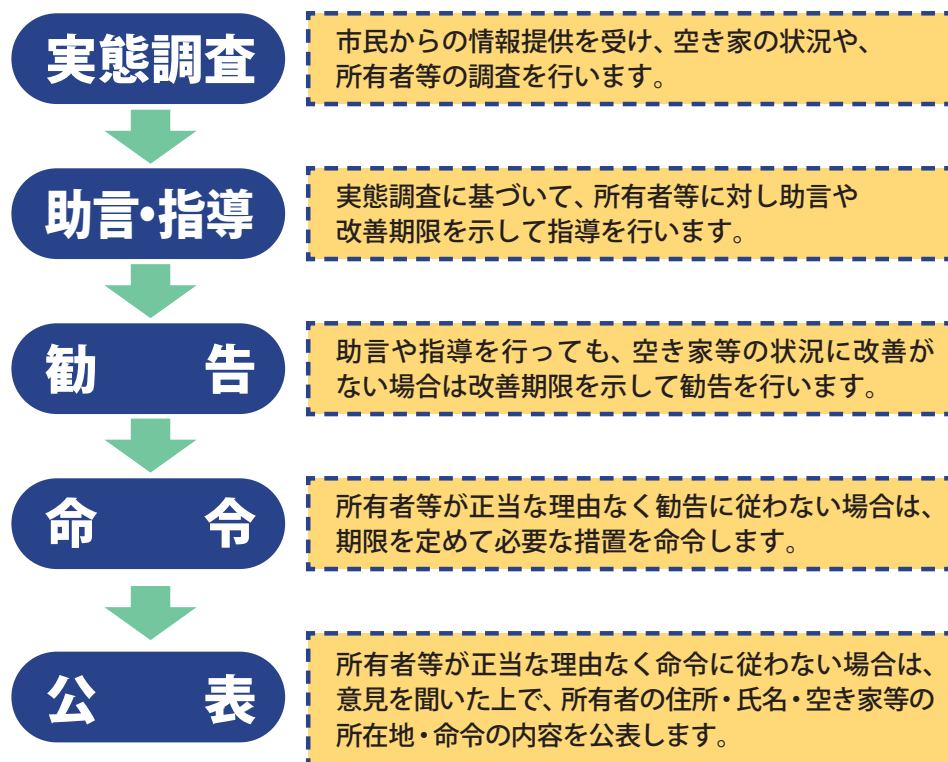
## 「空き家条例」施行

### 所有者の住所・氏名の公表も

「川口市空き家等の適正管理に関する条例」が10月1日より施行されました。この条例は、適正に管理されていない空き家等により、市民の安全で安心な生活が脅かされることを防止するため、空き家等の所有者等の責務を明らかにするとともに、管理不全な空き家等の所有者に対し適正な管理を促すためのものです。

少子高齢化社会の進展に伴い、市内でも管理が行き届かない空き家等が増加し、近隣住民に不安や迷惑を及ぼす例が見受けられるようになってきています。

今回施行された条例では、「所有者等」と「市民」、「行政」が連携して管理不全な状態である空き家等の対策に取り組むため、それぞれの義務や役割を規定しています。なお、行政の役割は右図の通りです。



## 桜町排水区、雨水貯留管暫定供用開始

### 住民の悲願 足かけ3年の工事 55.5mm/hの降雨に対応 管径3m×延長255m×上下2段=3,600tの雨水を貯留

長年にわたり、都市型洪水に悩まされてきた桜町排水区(桜町3丁目を中心とする21.37ha)で、住民の悲願であった雨水貯留管の工事がほぼ完成し、暫定供用が始まっています。

この事業は、平成22年度より進められていたもので、

直径3mの貯留管を上下2段、延長255mの長さにとわり、コンフォール東鳩ヶ谷団地の外周道路に沿って埋設したものです。1時間当たり55.5mmの降雨まで対応可能です。今年度内に、貯まった雨水を排出するためのポンプを設置し、本格供用を開始する予定です。

暫定供用とはいえ、この夏から秋にかけての豪雨時にも、貯留管はその威力を発揮し、当該地域ではこれまでのような被害は発生しませんでした。

しかしながら、最近では1時間当たり55.5mmをはるかに超える雨量も各地で観測されており、今後は「盆地状」の当該地域に雨水が集中しないようにするなど、さらなる対策が必要であると考えます。



●平成21年8月9日、桜町3丁目の浸水状況  
(床上浸水・18戸、床下浸水・108戸)

## 汐入橋歩道拡幅を要望

### 鳩ヶ谷地区選出の5議員が同席

先ごろ、南鳩ヶ谷7丁目と同6丁目を結ぶ汐入橋の歩道橋拡幅に向けた要望書が市に提出されました。汐入橋は昭和39年に建設され、その後同52年に歩道橋が併設されましたが、歩道橋の幅員が約1.5mと狭く、自転車利用者のすれ違いにも支障を来している状況です。近年、同橋周辺ではスーパーマーケットの開店やマンションの建設が進み、これに伴い歩道橋利用者も増加しています。このため、南鳩ヶ谷7丁目住民の方を中心に、約2,800名分の署名簿を添付し、今回の要望書提出となりました。要望書提出には野口宏明、岩井定一、関由紀夫、金子幸弘、船津由徳の鳩ヶ谷地区選出5議員も同席。会派を越え、問題解決に当たる姿勢を示しました。これに対し渋谷副市長は「多大な予算を必要とすることから、橋全体の掛け替えには難しい面がある。歩道橋拡幅に向けた工法等の調査・研究に着手するよう担当部局に指示した」と答えました。



●有明橋



●白鷺橋



●千歳橋



●他の橋に比べ、汐入橋の歩道橋部分は狭い

## 「妊婦補助券」導入を要望

### 出産時のタクシー利用に補助を

妊婦の方が出産時に産院・病院に向かう際、タクシーを利用した場合に、その料金の一部を補助する制度の創設を求める要望書が、このほど市に提出されました。

現在、出産が正常分娩の場合、救急車は原則として利用できません。また、核家族化の影響で、いざという時に親族に病院等への搬送を依頼できないで、不便を強いられている妊婦さんが多くいます。そのような時に、気軽にタクシーを利用できるようにと、今回の要望書提出となったものです。



●現在「子育てタクシー」を運行している2社の代表(左端)から橋本副市長(右端)に要望書が手渡されました。

# 野口ひろあきの一般質問



今回、私は質問の大きなテーマとして「ガバメント2.0」を取り上げました。ガバメント2.0とは、インターネットやスマホ・携帯電話で使うアプリ（具体的な作業を目的としているソフトウェア）で市民と行政を結びつけ、公共サービスの効率を上げようという試み。現行の行政システムはガバメント1.0で、これをICT（情報通信技術）により効率化した形が、ガバメント2.0であり、ICTを活用した行政と市民の「協働」と言えます。

アメリカではすでに実用化が進み、「24時間苦情受付」「街づくりに関する市民の意見収集」「道路等の破損情報伝達」「救急通報で近くの登録市民が急行」等々の場面で、ガバメント2.0が動き出しています。

## 1. ガバメント2.0について

### (1) 川口市としてガバメント2.0をどう評価・対応するのか

(市長答弁) 議員ご指摘のガバメント2.0のような市民サービスの向上、市民主体のまちづくりを推進するために、スマートフォンのアプリなどのICTを活用することは、有効な手段であると考えます。今後はその活用方法について、セキュリティ面についても考慮しながら調査、研究して参りたいと存じます。

### (2) 公共施設（道路）のメンテナンスに携帯アプリの活用、市民の協働を

(答) 良好な道路管理を行う上で、市民からの情報提供は、必要不可欠なものであり、そのひとつとして携帯アプリからの情報伝達は、現場状況の把握に迅速に対応できる有効な手段であると考えています。

また、簡単な補修を市民の方にお願いすることについては、現在、現業職員が、常時パトロール車に補修材を積載し、対応しているところですが、道路における陥没、クラック等の維持補修については、地下埋設物の把握など、現場状況の専門的な知識と経験が必要であり、課題もありますことから、今後、研究して参りたいと思います。



●スマホや携帯から道路の破損情報等を市に伝達（イメージ）

### (再質問) 神戸市の道路愛護地域活動事業、網走市の市道補修ボランティア制度など、地域の住民が簡単な道路補修を自ら行い、行政側で材料提供や費用の負担をする制度が実施されています。現場状況の専門的な知識と経験等について、もう少し詳しく

(再答) 陥没の要因は水道、下水道、ガス等、地下埋設物の亀裂破損等に起因するものが多く、下水道管のつまりやガス漏れ等の二次災害などの危険もあり、埋設位置、布設状況の確認、そして占有者との早急な協議、調査が必要であることなど、知識と経験と何よりも機動力が求められます。市民の方にどこまで対応して頂くのか、費用対効果や安全面などの課題があると考えます。

### (3) 危機管理における携帯アプリの活用

(答) 携帯アプリを活用して市民の皆さんから被災状況等の情報提供を得ることは、救助活動等を行う上で非常に効果的であると考えています。一方、不特定多数の情報は信憑性や正確性の面で課題もあることから、フィラデルフィアや千葉市の事例を参考に、今後の研究課題とさせていただきます。

### (4) 救命率の向上に携帯アプリの活用、市民の協働を

(答) 平成24年までの川口市における救命講習の延べ受講者数は35,000人となり、そのうち川口市消防団員190名が受講しています。この講習を通して、倒れた人がいたら、すぐそばにいる人が救命措置をするように指導しています。消防局としましては、この救命講習を充実強化することで、海外における救命体制に近づけるよう、さらに救命率の向上に向けた研鑽に励んで行く所存です。

## 2. 就労継続支援施設でマイエンザを

### (1) 就労継続支援施設でマイエンザの作成を

(答) 就労継続支援事業所は、利用者の障害特性などを勘案し、その実態に応じて、様々な作業を行っています。各事業所は、常日頃から作業種目を利用者の実態に合うように整理し、より工賃の高い作業種目の導入を検討しています。新たな作業種目の導入については、作業マニュアルや設備の整備、需要や販路・仕入れ先等の確保など、様々な課題が生じることから、今後研究して参りたいと存じます。

(注) マイエンザとは、納豆、ヨーグルト、ドライイースト、砂糖をお湯と混ぜ、培養させて作る微生物資材（液体）です。希釈して使用し、家庭から排水溝、河川までの水質を微生物の力で浄化する作用があると言われています。

### (2) 市内の就労継続支援事業所について

(答) 市内の就労継続支援事業所につきましては、本年4月1日現在で22事業所、定員は541名です。個々の事業所では、一般企業等からの受託加工作業や縫製手芸等の自主生産作業を行っています。また、埼玉県の資料によりますと、平成23年度の就労継続支援B型事業所の県平均工賃につきましては、月額12,688円です。

(注) 市内の就労継続支援事業所入所者の平均収入月額は、まだまだ低水準にあり、低廉な原価で作成できるマイエンザを提案しました。

## 3. 消防団について

### (1) 消防団の出場について

(答) 消防団は地域と密着していることから、災害現場における関係者情報等を有し、消防活動の初動体制を展開するうえで、重要な役割を果たしています。火災発生時は出場計画に基づき、災害現場直近3隊を出場隊に指定しており、消防団員への火災連絡方法については、電話連絡及び指令台からのメールにて周知しているところです。引き続き消防職団員が一致団結して、火災等の災害に対処し、被害の軽減を目指すものであります。

# 野口ひろあきの一般質問

## (2) 団員募集の手法について

(市長答弁) 消防団員の実員数は433名、条例定数に対し、充足率81.4%となっています。消防団員の募集は「はたちの集い」や「地域の祭り」の行事などにおいて消防団をPRし、団員確保に努めているところです。また、学生や女性消防団員は、各地区の団員の勧誘により、7月に女性及び大学生が入団いたしました。今後は、地域防災にとって欠かせない存在である消防団員の確保や、消防団の充実強化について取り組んで参ります。



●有名な沖縄消防カレンダー。当市の消防団もこうした例を参考に積極的なPRを！?

## 4. 待機児童の解消に向けて

### (1) 「横浜方式」に対する本市の見解は

(答) 横浜市は、市単独の補助の創設や公有地の活用により、施設整備を積極的に行うことで、受入枠を拡大し、待機児童を解消したところです。本市としましても、その取り組みは参考になると認識していますので、そのメリット、デメリットを研究し、今後の保育施策に反映させて参りたいと存じます。

### (2) 川口市の待機児童の現状とその解消に向けた今後の具体的方策は

(答) 本市の待機児童は、平成25年4月1日時点で、110人です。経年では平成21年度123人、22年度102人、23年度103人、24年度123人という状況です。このような中、保育所整備を進め、子育て・保育環境の充実を図ることが喫緊の課題です。現在、詳細な制度設計が行われている、国の「子ども・子育て支援新制度」の検討状況を注視しつつ、本市としては、待機児童の解消に向け、積極的に新規保育所の整備促進を進めるため、新たな補助制度を検討しているところです。

### (3) 待機児童の解消に向けた相談制度の拡充を

(答) 窓口や電話での直接対話による相談は、微妙なニュアンスの違いを理解したり、相談者の気持ちをくみ取るなど、相談内容に応じた、細やかな対応ができるものと思います。一方、議員ご提案の「相談アプリ」や「相談サイト」につきましては、一般的な質問、要望や苦情の受付、情報の交換などに効果的と存じます。保護者からの保育所入所等の相談につきましては、直接の対話により、親切・丁寧な対応に心掛けて参りたいと存じます。

### (4) 認可保育所の面積基準の緩和を(その2)

(答) 国が示した保育面積基準の緩和につきましては、本市としましては、1歳児のみの適用であることや保育の質の確保の観点から実施は難しいものと存じます。

### (5) 認可保育所に対する補助の拡充を

(答) 本市では、民間保育所の運営を支援するため、平成25年4月から、保育児童数に応じた補助を1人あたり2,000円を、年1回から毎月の補助としたほか、障害児に対応する

加配保育士を雇い入れる補助についても、月額154,000円から230,000円にするなど、補助の拡充を図ったところです。また、議員ご指摘の園舎・園庭用地の賃借に対する新たな補助については、安心こども基金の拡充について、県へ要望して参りたいと存じます。

## 5. 新電力の導入について

(答) 財政状況が厳しい中、予算の執行に当たっては、各部局において種々の工夫をし、経費の削減に努めています。新電力の導入は、こうした取組みの一環であると考えており、捻出された財源については、各部局における経費削減努力等を考慮しつつ、より効果的な配分について検討して参ります。

## 6. 地域の問題について

### (1) 新芝川に桜の植栽を

(答) 新芝川への桜の植栽については、堤防への植樹は桜の根が堤体・護岸等の河川管理施設に悪影響を及ぼしかねないため、管理する埼玉県の見解は、現状では難しいとの事です。

※その後「鳩ヶ谷地区以外も含め、他の河川ではどうか」との問いに対し、「河川区域内への桜の植栽については、治水管理上支障とならないように考慮する必要があります。このことから、植栽可能な箇所や手法について、荒川スーパー堤防や見沼代用水なども含め、調査・研究して参りたいと思います。」との回答を得ました。

### (2) 桜町小学校留守家庭児童保育室の設備充実を

(答) 桜町小学校留守家庭児童保育室については、今年度より学校施設を改修して保育室を設置し、運営状況を見ながら適宜施設の整備にあたっているところです。ご指摘の網戸、食器棚については整備が完了しており、エアコンについては夏季期間中にリースで導入予定となっています。また、物置や下駄箱等の対応については、今後も学校長と協議し検討して参りたいと存じます。

### (3) 辻小学校敷地内に留守家庭児童保育室の設置を

(答) 辻小学校の留守家庭児童保育室については、学校の校舎内に余裕教室がないことや、校庭に新設した場合、学校行事や地域団体の利用に支障があることなどから、現在、移転は難しい状況です。今後とも引き続き学校との協議や実地調査等を行いつつ、現状の施設においても、安全・安心な保育ができるよう配慮して参りたいと存じます。

## 野口ひろあきが答えます。



携帯電話のQRコードリーダーで野口ひろあきのホームページにアクセスできます。

ご意見をお寄せください。下記の宛先を点線から切り離してご使用ください。

〒334-0003  
川口市坂下町2-3-18-106  
野口ひろあき事務所